

循環型社会への加速に向けた 日本初「地区の資源循環の可視化」を開始！



横浜市及びヨコハマSDGsデザインセンターは、脱炭素先行地域に選定されているみなとみらい地区において「みなとみらいサーキュラーシティ・プロジェクト」を推進しています。

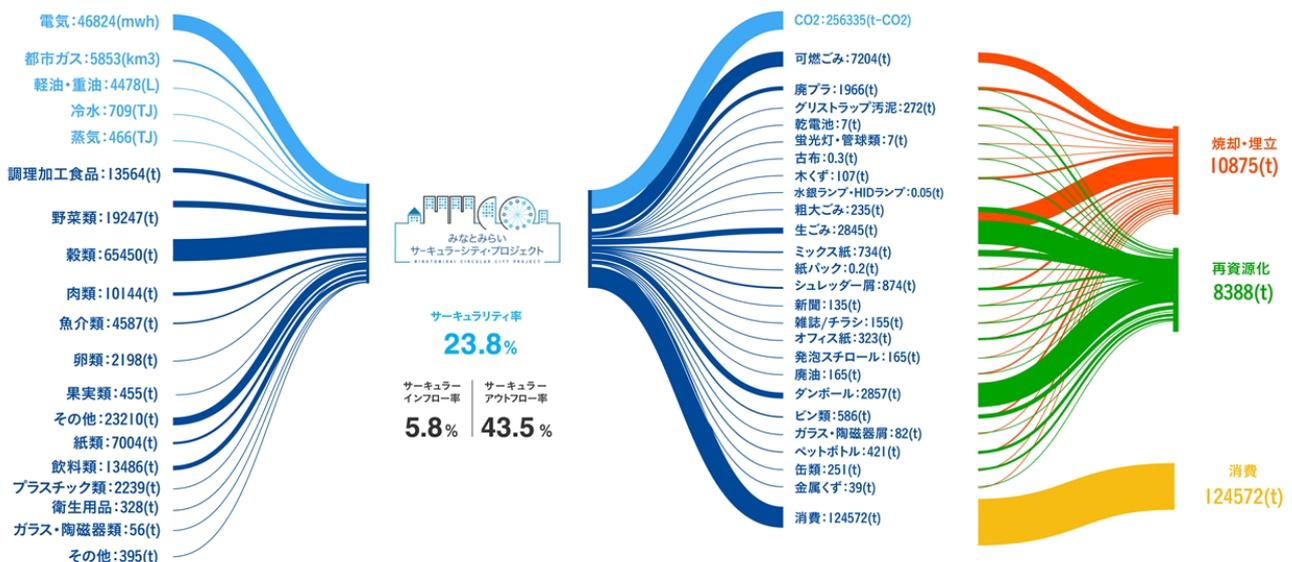
今回、同地区において資源循環を可視化し、循環率の進捗を定量的に把握していく取組を実施します。地区で実施する日本初の取組です。

1 取組概要

資源循環の可視化とは、サーキュラーエコノミーへの移行状況を定量的に把握するために、資源の循環性を数値化するもので、地区内に投入される資源や、排出される資源の量と、これらのうち循環される量を定量的に評価する取組です。

可視化したデータを活用することで、みなとみらい地区におけるサーキュラーエコノミーの一層の推進を目指します。

この取組によって、地区の資源循環率を向上させるために優先的に取り組むべき分野の特定や、資源循環率の向上に伴う温室効果ガス排出削減などにつなげることが期待できます。



【イメージデータ】みなとみらい地区の資源循環の可視化

裏面あり



2 参画主体名（計13主体、五十音順）

神奈川県 神奈川大学 みなとみらいキャンパス	みなとみらい2 1 熱供給センタープラント
クイーンズスクエア横浜 全体共用部分・ 専有クイーンモール等部分	みなとみらいグランドセントラルタワー
クイーンズスクエア B・C	横浜赤レンガ倉庫
京急グループ本社	ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
パシフィコ横浜	横浜みなと博物館
MARK IS みなとみらい	横浜ランドマークタワー
MARINE & WALK YOKOHAMA	【協力】大川印刷 with GREEN PRINTING (みなとみらい地区近隣の事業所)

※参画主体とは、資源調達・廃棄物データの共有や、再資源化の取組などを継続的に進めていく予定の主体です。

3 連携事業者・役割分担

横浜市・ヨコハマSDGsデザインセンター	本取組におけるマネジメント及び参画主体・連携事業者との調整
一般社団法人横浜みなとみらい21	みなとみらい地区の商業施設・オフィスビル等の各施設・事業所への取組参画の呼びかけに関する協力
レコテック株式会社	・可視化したデータの作成協力・アドバイス ・同社が提供するデジタルアプリケーション「pool」を用いた品目別の廃棄物発生状況のリアルタイム可視化

4 今後の取組

引き続き、本取組の参画主体数を増やしていくことで、同地区の資源循環率の推計精度の向上を進めていきます。また、可視化したデータを活用し、同地区の資源循環率向上に向けた具体的な取組の検討を連携事業者や参画主体等と対話しながら進めていきます。

お問合せ先		
■本取組に関すること ヨコハマSDGsデザインセンター コーディネーター (ハーチ株式会社 代表取締役) 加藤 佑		TEL 050-3749-7415
■ヨコハマSDGsデザインセンターに関すること 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局SDGs未来都市推進課長 田村 康治		TEL 045-671-3901
■脱炭素先行地域に関すること 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局カーボンニュートラル事業推進課長 松下 功		TEL 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

